

# KIX3 基本情報

## ■ 受付場所と連絡先

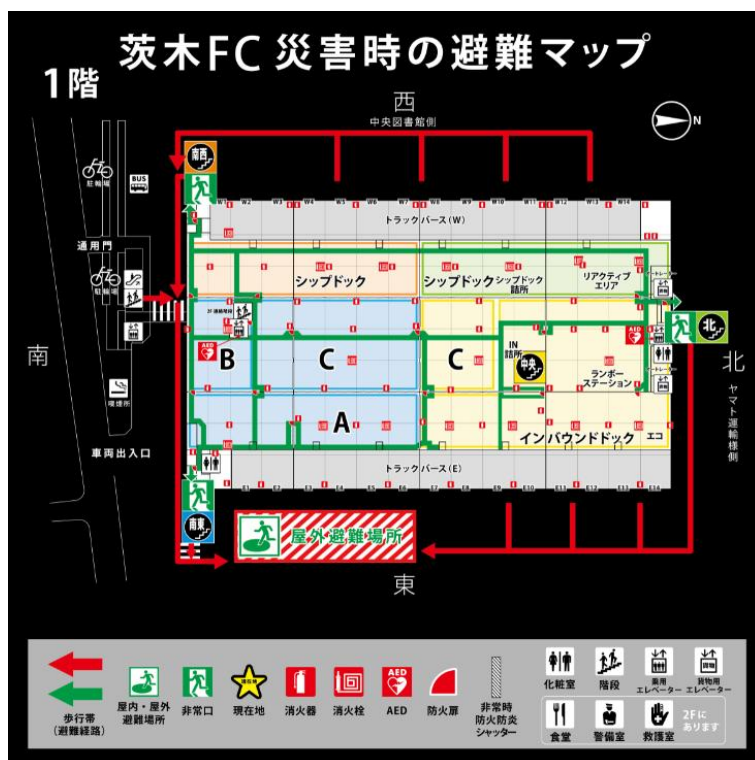
	受付場所	稼働時間	担当部署	連絡先
通常納品/資材納品	通常：E7-E13ドック	通常： 09:00 - 18:00 (受け付けは17:00 まで) 22:00 - 06:00	Inbound 入荷受付	Inbound: 070-1418-8574
	資材：W13	資材： 09:30~19:00	Outbound	Outbound : 070-1418-8557
出荷積込み	W1-W12 ドック	9:00 - 翌07:00	Outbound AMZL他	①070-1416-9754 ②080-4592-3680 ③080-4592-5429
			横持ち	080-4592-4927
			ヤマト様行	080-4592-4085
			Vリターン	070-1418-8552
廃棄物積込 (パッカー車・トラック)	E14ドック	9:00 22:00	Facility	090-4363-7280

## ■ 避難経路

地震(震度5以上・火災発生時)

非常ベルが鳴ったら、すぐに作業を中断  
館内放送に従い、屋外南東(停電時:食堂)に避難  
最寄りの階段や非常口から避難

避難場所に到着したら、整列して点呼を受ける。  
点呼完了後は指示があるまで座って待機。



# KIX3 基本情報

■ 受付可能な車両 (レバラーの数には限りがありますので原則エアサス車でご来構下さい。)

## Outbound

トラック形状	受け入れ可否	備考
2t トラック	一部Dockのみ可	W10A ※標準ドック高±20cmの荷台高受け入れ可能
4t トラック	○	
10t トラック	○	
エアサス車ではないトラック	○	
ウィング車(フォークリフト横降ろし)	×	
ウィング車(後方ハンドリフト降ろし)	○	
バン	一部Dockのみ可	W10A
軽バン	一部Dockのみ可	W10A
軽トラック	×	
荷台露出しているトラック	×	
コンテナ車 (海コン・鉄道コン)	×	
トレーラー	×	
乗用車	×	
冬用チェーン装着車両	×	
スタッドレス/ミックスタイヤ装着車両	○	
※その他注意事項	特になし	
受付可能な荷台天井の高さ	300cmまで	
受付可能な荷台の高さ	標準ドック:100cm 対応可能高さ:90cm ~ 110cm (2t車特例有) ドックレバラー設置:あり 設置箇所:W13A,W10B,W8B,W6B,W4B,W2B レバラー設置ドック:100cm 対応可能高さ:90cm ~ 110cm	
ラッシングバーの置き方	各Dock Doorのラッシングバーラックに格納	

## Inbound

トラック形状	受け入れ可否	備考
2t トラック	一部Dockのみ可	E9A ※標準ドック高±20cmの荷台高受け入れ可能
4t トラック	○	
10t トラック	○	
エアサス車ではないトラック	○	
ウィング車(フォークリフト横降ろし)	一部Dockのみ可	E9B,E7B
ウィング車(後方ハンドリフト降ろし)	○	
バン	一部Dockのみ可	E9A
軽バン	一部Dockのみ可	E9A
軽トラック	一部Dockのみ可	E9B,E7B
荷台露出しているトラック	一部Dockのみ可	E9B,E7B
コンテナ車 (海コン・鉄道コン)	×	
トレーラー	×	
乗用車	一部Dockのみ可	E9A
冬用チェーン装着車両	×	
スタッドレス/ミックスタイヤ装着車両	○	
※その他注意事項	特になし	
受付可能な荷台天井の高さ	300cmまで	
受付可能な荷台の高さ	標準ドック:100cm 対応可能高さ:90cm ~ 110cm (2t車特例有) ドックレバラー設置:あり 設置箇所:E9B,E7B レバラー設置ドック:100cm 対応可能高さ:90cm ~ 110cm	
ラッシングバーの置き方	各Dock Doorのラッシングバーラックに格納	

# 入出時の注意点

名神高速からのアクセスは必ず府道14号線をご利用ください。



畑田東の通りはヤマトセンター様と干渉し渋滞する為、市からの要請により通行禁止。

出構の際、田中橋方面は道幅が狭まっているため、左折は4t車以下に限る。

出入り口は南ゲート

## ■ 基本情報

- ① 名神高速道路からアクセスの際は、必ず畑田交差点から**府道14号線**を利用して入構ください。
- ② **畑田東の通り**はヤマト関西ゲートウェイ様と干渉する為、激しい渋滞が見込まれます。こちらからの入構・出構は禁止となります。
- ③ 出構の際は、基本右折で出構をお願い致します。田中橋方面は、途中の道幅が狭まっているため、4t車以下のみ左折出構可能となります。

## ■ まとめ

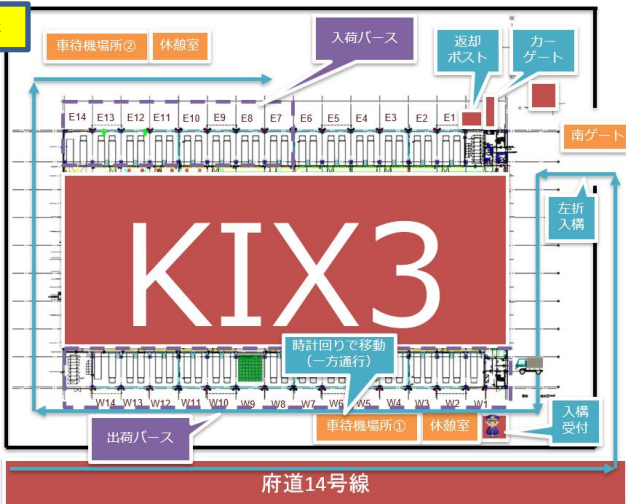
入構の際は府道14号線をご利用して左折で入構をお願い致します。出構の際は、基本右折で出構、または、4t車以下のみ左折で出構可能。

**※ 上記は茨木市役所からの指導となりますので、必ず遵守して頂く様お願い致します。**

※ 車両から降りるときは必ずサイドブレーキをかけ、輪留めの実施をいただけますようお願いいたします。

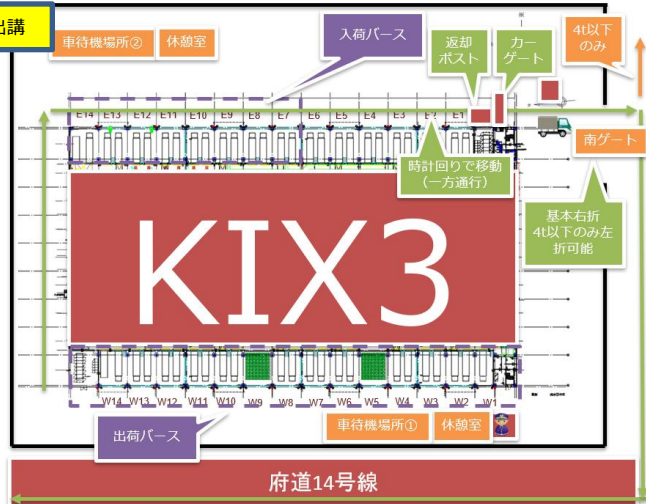
# 構内について

入構



府道14号線

出構



府道14号線

## ■ 受付の流れ

※ 構内は時計回りの一方通行にご協力ください。

- ① 敷地へ入構し警備ボックス手前の停止線で停車をお願いします。
- ② 警備ボックスで受付をお願いします。入構許可証等のセットを袋に入れてお渡しいたします。
- ③ 待機駐車場に移動し弊社担当の電話番号にご連絡をお願いします。
- ④ 時間になりましたら、弊社担当から呼出し機を通じて搬入ドアをご案内いたします。**※安全ベストを着用してください**
- ⑤ 着車後、弊社担当にトラックの鍵をお預けください。
- ⑥ 作業完了後、トラックの鍵をご返却いたします。
- ⑦ ②でお渡しした袋を返却用ポストへご返却ください。

## ■ 基本情報

- ① 荷下ろし、積み込みが終了しましたら、弊社作業員の安全を確認後、退構口へ異動をお願い致します。
- ② 敷地内の移動は、建屋に沿って右回り（時計回り）の一方通行となります。
- ③ 退構口において、『入構証、構内ルール、安全ベスト、呼び出し受信機』をポストにご返却頂き、退構をお願い致します。
- ④ FC退構は、基本右折、4 t 車以下のみ左折も可能です。右折の場合、府道14号線へとお進みください。左折の場合、田中橋方面は途中の道幅が狭まっているため、4 t 車以下のみ通行が可能となっております。

# 建物内侵入区画でのルール

ドライバー様と庫内作業員 双方の安全のため、  
ルールの順守ならびに倉庫内従業員からの指示に従って下さい

## 1. 商材の積荷の高さは **パレット込みで160cm** 以下



各ドアの壁面にピンクのテープで「高さ160cm」見える化をしています。  
荷崩れ防止・視界確保が目的です。

トラック内は構いませんが、**パレットでそのまま下ろす際も含め**  
建物内に入る前にトラック内での積み替え等の対応をお願いします。

横持ち品と梱包資材のみ、例外容認されていますが

**原則 160cmより高くにある商材・荷物は**  
車内で降ろしてから建物に入れて下さい。

## 2. ハンドフォークは元の場所に戻し**ハンドルを90度**にする



ハンドフォークから離れる際、**元の置き場**に戻して

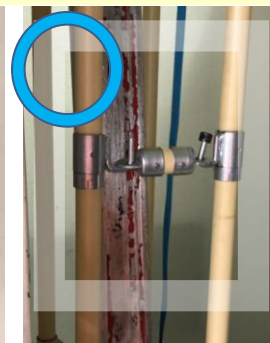
・爪をパレット奥まで挿し込んでください。

・ハンドルを90度に曲げてください。

つまづき・誤発進による事故などを防ぐ目的です。

※ロールボックスの下は **禁止** です。

## 3. ラッシングバーはラックに挿して**ロック** or **車から出さない**



ラッシングバーはドック両サイドにあるラックに挿しましょう。  
写真のように**ロックを掛けないと倒れるため危険**です。

ラックに挿さないのであれば、**車から出さない**ように  
お願いします。

## 4. コンベヤに無理やり荷箱を押し込まない

### 段ボールの押し込み禁止!!



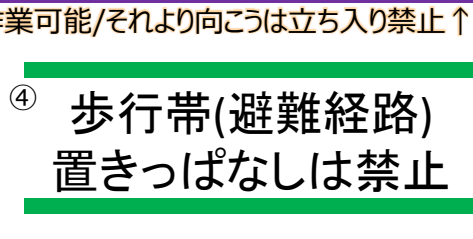
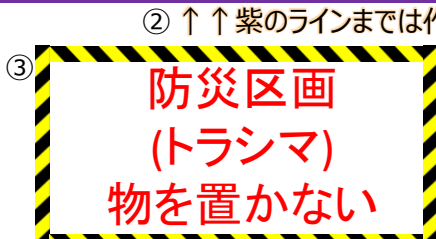
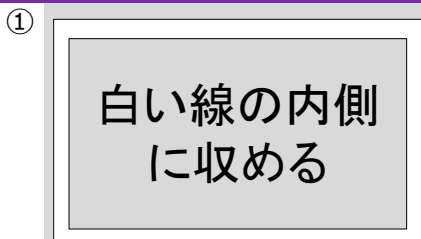
★ドライバー様へお願い★

無理な段ボールの  
押し込みはご遠慮下さい!!  
段ボールの押し込みにより  
作業者がカッターで手を切る  
怪我が発生しております!!

段ボールの押し込みはご遠慮下さい  
受傷災害が発生しております!!

※荷箱の無理な押し込みにより、  
下流の作業者がカッター切創事故に遭いました。  
荷下ろしが忙しい場合でも焦り作業はお控えください。  
また、それによる段ボールの押し込みは事故のもととなります。  
よろしくお願いします。

## ラインテープのルール



①万が一「コンパネ/鉄板」が破損し、どうしても入出荷の作業が困難な場合は、拠点作業員にご相談下さい。FCで貸し出し用の「コンパネ/鉄板」の準備がある場合は貸し出しが可能です。拠点より貸し出した「コンパネ/鉄板」での作業における安全確保に関しては、ドライバー様にてご留意頂くようお願いいたします。

②FCでドックレベラーのついているドックでは必ずレベラーを使用し積み下ろしを行ってください(跳ね上げ式パワーゲート車を除く)。

## 空RB3本連結バンド運用手順

- 1.ドックに設置されているバンド2本を取る
- 2.空RB3本の両脇に2本のバンドを取り付ける



- 3.一番内側のRBを組み立てる
- 4.RBの開口部を両手でしっかり持ち、移動させる



- 5.FC内へ運搬が完了したらバンドを取り外す。  
※FC内作業員へ引き渡す場合はバンド着用のまま作業員へ引き渡し1~5を繰り返して車両内ロールボックスをFC内へ搬送する。

- 6.内側の組み立てているロールボックスを折りたたむ。
- 7.1~6まで繰り返し車両内ロールボックスをFC内へ搬送する。

## その他

### ■ FCでのロールボックス搬送ルール

#### 【ドライバー様の作業範囲について】

・拠点作業者の指示に従い、ドック前に置かれたRBまたは拠点作業者から渡されたRBを荷積みしてください。

紫のセキュリティラインを超えてRBを取りに行く、または搬送することは厳禁です。

※体調不良等で紫のセキュリティラインを超えて移動する必要がある場合は、必ず拠点作業者へお声がけください。

※(夏季熱中症対策期間のみ) ウォーターサーバーのご利用を希望される場合は、拠点作業員へお声がけください



#### 【傾斜部での作業について】

・ヤマトロールボックスについて、原則、傾斜・段差の場所では、ロールボックス転倒を防止するため、進行方向に対して背面を横向きにして運搬をお願いします。



#### 【JPロールボックスの作業について】

・JPロールボックスは畳んだ状態では運ばず、必ず底板まで組立てた状態で搬送をお願いします。

